

## 農と食をつなぐ こだわりマルシェ@miya

宇都宮の魅力や価値を内外に伝える空間、宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」が、オリオン通りの空き店舗を改装して平成21年11月にオープンした。内装には木のぬくもりや大谷石を活かして、癒しや温かみといった親しみやすい空間を演出している。

1階のこだわりマルシェ「@miya(アット・ミヤ)」は、朝採れ野菜、有機・低農薬野菜、一流シェフやパティシエがつくるスイーツやデリカ、市内の銘菓、名産品を販売し、スローフードな軽食も味わえることから、幅広い年代の女性客で賑わっている。

### ■ 栃木県宇都宮市

総人口：510,223(人)  
世帯数：210,705(世帯)  
総面積：416.84(km<sup>2</sup>)  
人口密度：1224.0(人/km<sup>2</sup>)  
(平成22年3月1日現在)

### ■ 宇都宮オリオン通り商店街

J R宇都宮駅前大通と平行して東西に約500mのアーケードのある商店街で、J R宇都宮駅から徒歩10分ほど、東武宇都宮駅から徒歩2分の位置にあり、周辺には東武百貨店、パルコ、長崎屋がある。現在会員数は64店舗である。



### 背景ときっかけ

オリオン通り商店街の歴史は古く、昭和20年代に商店街を形成。当時は夜の繁華街として広く北関東一円から集客して、1日あたりの通行量は4,500人を超えていた。しかし、交通事情、駐車場不足や社会情勢の変化を受け現在は平日で1,800人に減少。中心商店街の通行量は平成8年のピーク時の3分の1以下に減少している。オリオン通りは、『入って休めるところがない』と言われており、ほっとできる憩いの空間が求められていた。宇都宮商工会議所は、宇都宮ブランドを創造するアンテナショップ「宮カフェ(一般募集で決定)」の計画を先導して、予定地を東武宇都宮駅前のオリオン通り沿いの空き店舗(1,2階延べ約186坪)に決め、「宮カフェ」の施設プランを公募した。

その結果、「宇都宮ブランドの発信拠点」、アグリスタイルという「スローライフスタイルを提案する店舗」をコンセプトに企画をまとめた㈱ファーマーズ・フォレスト案が採用された。そして、店名は@miyaとなった。

※㈱ファーマーズ・フォレストは体験型スローライフパーク「ろまんちっく村」の指定管理者で、集客が低下していた当施設を年間100万人集客する施設に再生させた。

### 取組内容

@miyaは、宇都宮の特産・名産や話題の商品を集めたこだわりマルシェを展開する。新鮮な地場産の野菜や農作物、さらにそれらの加工品、名店シェフが創作したスイーツやデリカなど、コラボで開発された数々の商品を販売するほか、宇都宮市内で製造されている名産品、伝統工芸品などを一同に集めている。

次世代の農と食を提案するバーチャルサイト@agriを、リアルな店舗、マチナカこだわりマルシェ「@miya」として実現させた。@agriと@miyaをプロデュースするのは㈱ファーマーズ・フォレスト。

- ◇マルシェ&デリカ・・・有機・低農薬農産物、旬の新鮮野菜、花卉、農産加工品、畜産加工品
- ◇スローフードカフェ・・・デリカ、弁当、スープ、サラダ、スイーツ、ソフトクリーム、コーヒー、フレッシュジュース
- ◇ブランドマルシェ・・・市内の銘菓・名産・工芸品、宇都宮チャレンジブランド、宇都宮PRIDEコーナー

名称：マチナカこだわりマルシェ@miya(アット・ミヤ) (平成21年11月開設)

所在地：栃木県宇都宮市江野町2-11(宮カフェ1階)

面積：約48坪

販売品：市内農家の有機野菜・低農薬野菜、花卉、有機野菜を使ったデリカやスイーツ、スローフードな軽食・飲料

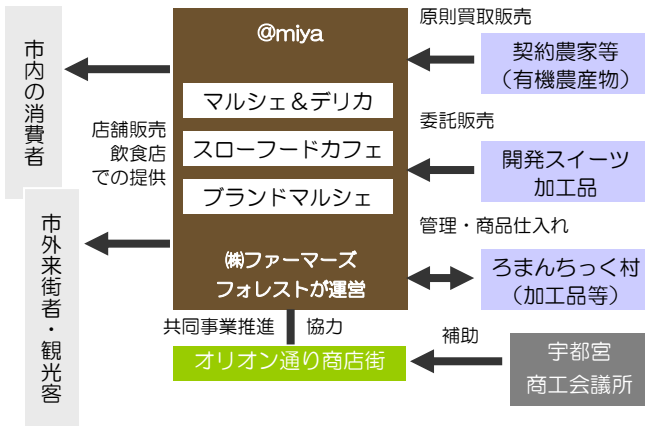
販売方法：野菜は原則買取販売、加工品は委託販売

営業時間：午前10時から午後9時(不定休)

販売員：10名



## 事業の仕組み



## 取組効果

- @miyaは、「アグリスタイル」というスローライフを提案する店づくりで、月1万人を集客する繁盛店になっている。(ろまんちっく村を体験型スローライフパークとコンセプトを一転させ、年間100万人を集客する施設に変えた実績とノウハウが活かされた)
- ターゲット層から、「宇都宮にこんな店が欲しかった!」と評価され、ほっとする空間として年配女性からもリピート利用がされている。
- 夜はがらんとしていたオリオン通りに人通りが出てきた。仕事帰りのOLたちが、ひとりで、また友達とちよつと気軽に立ち寄る店となっている。



## 取組上の工夫

- 野菜は、有機野菜、低農薬野菜に限定し、市内のJAS認定農家やエコファーマー農家の生産である。野菜の販売方式は原則的に買取販売としている。
- ろまんちっく村での実績やノウハウをそのまま適用することはしていない。客層が異なるので@miyaは、ターゲットを女性層に絞り、ここにしかない店づくり、商品開発、商品構成を行なっている。
- @agriで実施している実務家ネットワークは、プロ農家、シェフ、企業経営者で編成し、宇都宮の地域資源を活かしたメニュー開発、商品開発を行なっている。



## 今後の展望

- 次世代の農と食を提案する@agriを通じ、会員が提案するメニューや商品開発を、リアルな店舗である@miyaに活かし、消費者目線の店づくりを行なう。
- @agriの産直宅配の商品は、野菜やスイーツなど現在約300種類あるが、今後、開発アイテム数を増やし、1,000種類にしてゆきたい。
- 46haの広大な用地を持つろまんちっく村は、こんこんの森、もくもくの森と農園を含む約10haを「農と食のエンターテイメント空間」としての開発をめざし、@miyaとつないでゆきたい。



オリオン通り (右に宮カフェ)



苺と旬の野菜のフレンドリースイーツ



宮カフェの1階@miya



野菜を追加するスタッフ